

高知大学医学部

SRUに係る取り組みと将来展望

医学部長 降幡 睦夫

令和5年11月20日



岡豊キャンパス

敷地面積 204,718m²

講義棟

- 講義室
- 実習室
- チュートリアル室

実習棟

- 実習室
- 多目的講義室

臨床講義棟

- 臨床講義室

第1病棟

レジデントハウス

- スキルラボ
- 低侵襲手術教育トレーニングセンター

体育館・プール

運動場ほか

看護学科棟

- 講義室
- 情報処理実習室

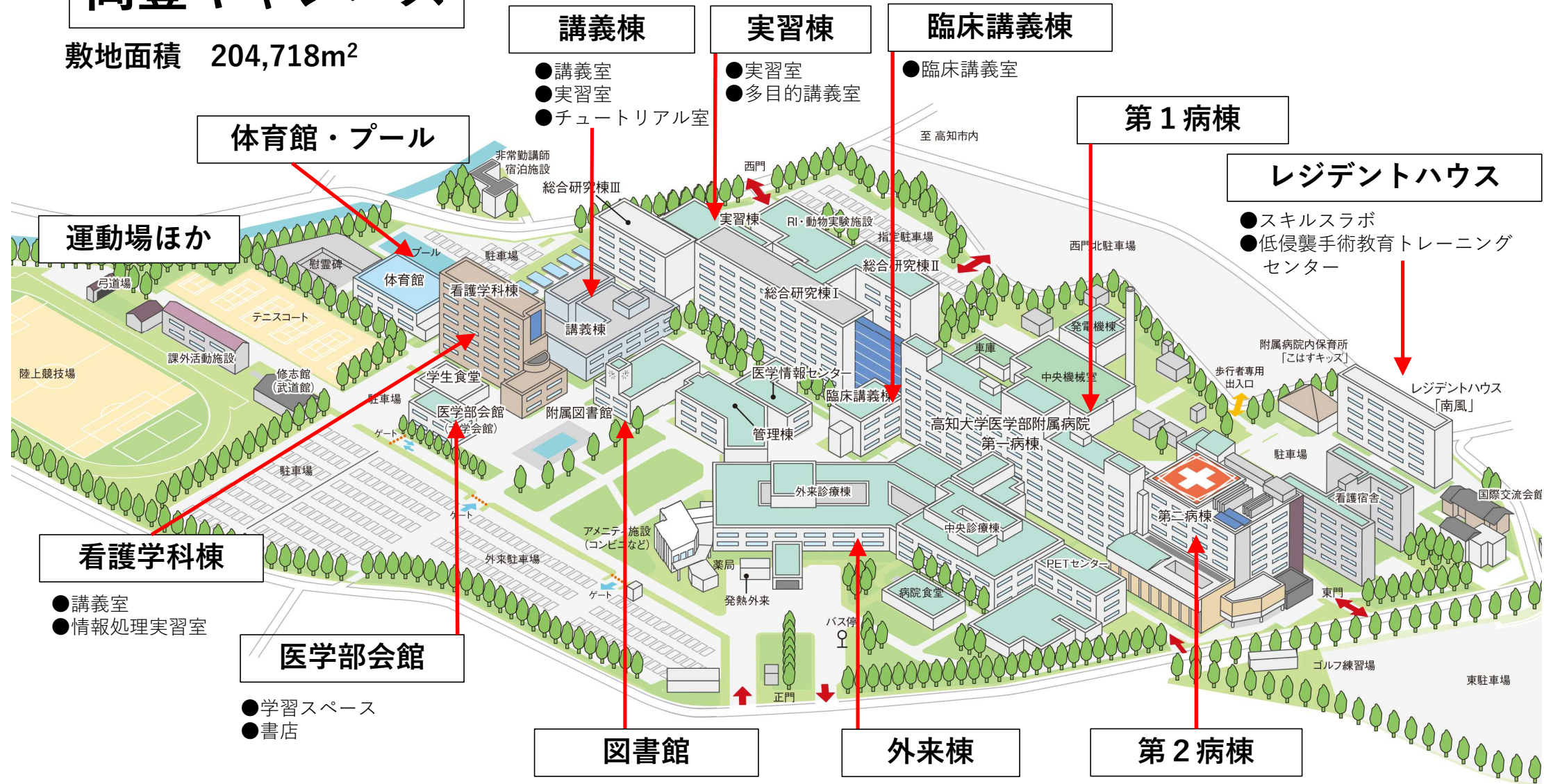
医学部会館

- 学習スペース
- 書店

図書館

外来棟

第2病棟



医学部医学科の使命

高知大学医学部は、前身である高知医科大学の「**敬天愛人**」と「**真理の探究**」という建学の精神を受け継ぎ、人間性豊かで、医の倫理と高度な知識・技能を身につけ、地域と時代の要請に柔軟に対応できる医師を養成する。

卒業時に達成すべき資質・能力（ディプロマ・ポリシーに基づく5領域設定）

1. 人間性豊かで、医の倫理と高度な知識・技能を身につけるために、常に自己研鑽ができる。
2. 地域と時代の要請に柔軟に応じた医療の実践ができる。
3. 臨床医・研究者として、大自然の摂理に謙虚な気持ちを常に持ち続け、真理を追求する研究を行える。

上記指針を達成するため、医学部学生は卒業までに以下の具体的な資質・能力を修得している。

- I. 医の倫理とプロフェッショナリズム
- II. コミュニケーション
- III. 医学の知識と技能
- IV. 地域における医療と公衆衛生の実践
- V. 真理の探究

2017年：医学部医学科の使命見直し、
卒業時に達成すべき資質、能力策定
(建学精神を基盤)

学修成果基盤型カリキュラム

医学科の学び 6年間の流れ

卒業時に達成すべき学修成果達成を目標

地域医療を理解するために、全学年において様々な科目が用意されています(EME 初期臨床医学体験、大学基礎論、基礎社会医学、臨床体験実習、地域医療学、保健医療制度、社会医学演習、臨床実習など)。また、2～4年生の間はTBLなどのグループ学習が先端医療学推進センターでの研究体験のいずれかを選択します。



1年生 EME 初期臨床医学体験

初めての白衣に感動。現場での体験が学習意欲に！
入学直後の早い段階から医療・介護・福祉の現場を体験することで、自分の将来像を描き、医学生として必要な心構えや態度を身につけることを目的とした実習です。附属病院での「外来つきそい実習」をはじめ、看護部、検査部、リハビリテーション部、薬務部、栄養管理室に入ってコ・メディカルスタッフの業務を知る「附属病院実習」、市内の診療所での「プライマリ・ケア実習」、高齢者・障がい児者の施設を訪問する「施設実習」などを体験します。

【専門科目の満足度】(1年生アンケートより)

IR DATA	2022年度	★★★★☆	10.0 満点中 7.5	EME はおよそ9割の人が満足度の理由に、1年生の専門科目の中ではダントツ1位の評価です！
	2021年度	★★★★☆	10.0 満点中 7.4	
	2020年度	★★★★☆	10.0 満点中 6.9	

※ [IR] についてはP.30をご覧ください。



※ [IR] についてはP.30をご覧ください。

1

- 教養科目
- EME 初期臨床医学体験
- 基礎医学・実習
解剖/病理/生理/変理/微生物/
公衆衛生/生化学/免疫/他
- 統合医学コース
- 先端医療学コース

3

- 臨床医学
臨床推論学/外科学総論/
老年病学/呼吸器病学/
消化器病学/内分泌・代謝学/
脳神経外科学/他



2～4年生 先端医療学コース：選択必修

医学研究を通して、課題探求能力を高める
独自性とリサーチマインドを持った医師・医学者の育成を目指し、最先端医療研究を通して、医学研究に必要な基礎学力と課題探求能力を高めます。学生は、医学部附属先端医療学推進センター内の研究班のいずれかに所属して研究に携わり、成果を論文にまとめます。また国内学会や国際学会にも積極的に参加し、国際感覚も磨いていきます。

大学院 MD-PhDコース

先端医療学コースを修了した学生は、医学部を卒業後、大学院博士課程医学専攻 MD-PhD コースにおいて、さらに研究を深化発展させることができます。



5～6年生 臨床実習

診療チームの一員として、臨床現場で学ぶ
臨床実習の中でも、診療参加型実習(クリニカル・クラークシップ)では、学生が診療チームの一員として患者さんの診察に参画します。医療面接や治療計画の策定、カルテへの記載、医療スタッフへの連絡といった実際の診療に関わることで、医師としての思考法や診療技能だけでなく、患者さんの社会・心理的背景に注意を払うことなど、将来「病気だけでなく人を診る」ことのできる医師になるために必要な態度・習慣を身につけていきます。

5

- 臨床実習
- 地域医療実習
- 臨床実習開始前の共用試験 CBT・OSCE
臨床実習に進むための知識を評価する CBT(コンピュータ試験)と態度・技能を評価する OSCE(客観的臨床能力試験)を行います。これは全国の医学部で共用して用いられる試験で、合格すると Student doctor の称号が与えられます。



2～4年生 統合医学コース：選択必修

チーム基盤型学習を通して、能動的学びを身につける
医師として最善の治療を行うためには、常に最新の医学知識や情報を自ら学び、集める必要があります。そこで、本コースではチーム基盤型学習(TBL: Team-Based Learning)を取り入れ、様々なテーマに対して個人の責任性を持ちながらチームで協働して課題解決を目指す中で、必要な知識、態度、技能を習得していきます。TBLは米国発祥の学習法で、本学部が日本で初めて導入しました。知識を応用する能動的な学習を重視しています。



【アクティブラーニングの満足度】(卒業予定者アンケートより)

IR DATA	2021年度	★★★★☆	10.0 満点中 6.8	統合医学コースの授業内で行われるアクティブラーニング(教員による一方的な講義ではなく学生が能動的に参加する授業)も、学生から好評です！
	2020年度	★★★★☆	10.0 満点中 7.0	
	2019年度	★★★★☆	10.0 満点中 7.3	

● 医学科 学びを支えるポイント

医学科教育の最終目的の一つは、医療の実践力を養うことです。そのために、高学年では附属病院での臨床実習があります。ここでは、各専門分野の課題に取り組み、患者さんの症状や訴えなどを診断にたどりつくための幅広い臨床推論能力を養うとともに、基本的診療技能および医療コミュニケーション能力を高めます。さらに、医療チームの一員としての役割を認識し、他職種と協働できるための姿勢を身につけます。そのためには、専門的知識を幅広く身につけることはもちろん、自ら探究すべき課題を抽出し、異なる科目にまたがる知識を統合して解決に取り組みることが求められます。また、自分の考えを論理的、明確に表現することや診療に関わる内容を適切に表現する能力が重要となります。これら高度な内容を学習するためには、しっかりとした土台となる予備知識が必要です。そのために、まず1年次に自然科学および人文科学系を含む教養科目などを学びます。

臨床実習(診療参加型)

- ・ 臨床実習Ⅰ(4～5年次) 附属病院および県内臨床研修病院での全領域実習
- ・ 臨床実習Ⅱ(5～6年次) 4週間単位の選択実習

医師国家試験

6

■ 臨床実習後 OSCE
臨床実習が終了し、卒業するに備える臨床能力が身についているかどうかを、臨床例を模した課題で評価します。知識を評価する卒業試験とともに、卒業要件の一つとなっています。

アクティブラーニング

統合医学コース
(2-4年次：選択必修)

- 2008年：全国に先駆けてワークショップを開催
トリアル授業開始
- 2012年：正式導入
- 2020年：ICT活用

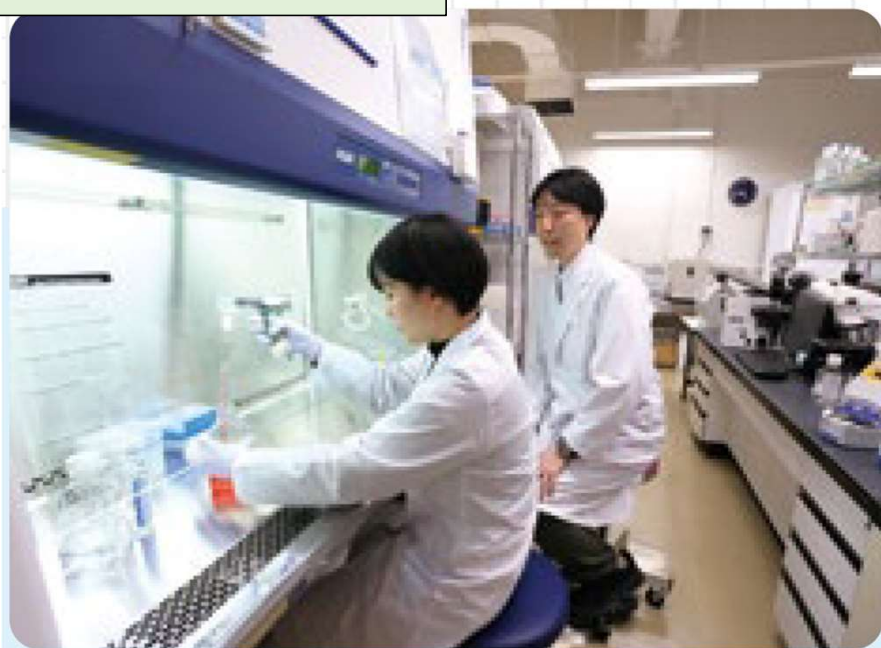
達成目標

- 自己への責任性
- チームへの責任性
- チームで問題解決
- 知識の定着

TBL（チーム基盤型学修）



先端医療学コース



医学研究を通して、課題探求能力を高める

2～4年生

先端医療学コース

独自性とリサーチマインドを持った医師・医学者の育成を目指し、最先端医療研究を通して、医学研究に必要な基礎学力と課題探求能力を涵養します。学生は、医学部附属先端医療学推進センター内の研究班のいずれかに所属して研究に携わり、成果を論文にまとめます。また国内学会や国際学会にも積極的に参加し、国際感覚も磨いていきます。

履修学生の業績（原著論文のみ抜粋）

■令和2年度

【原著論文】

- 1) Ono H (尾野秀彬：5年生), Shimizu T, Zou S, Yamamoto M, Shimizu Y (清水陽平：4年生), Aratake T, Hamada T, Nagao Y, Shimizu S, Higashi Y, Saito M: Brain nitric oxide induces facilitation of the micturition reflex through brain glutamatergic receptors in rats. *Neurourol Urodyn*.39:1687-1699, 2020.
- 2) Shimizu S, Nagao Y, Kataoka T (片岡環：4年生), Kamada S (鎌田栞穂：4年生), Shimizu T, Higashi Y, Saito M: Protective effects of tadalafil on prostatic hyperplasia in spontaneously hypertensive rats. *Eur J Pharmacol*. 882:173313, 2020.
- 3) 入澤里桜、清水元就、城可方、丹羽美貴、山中風佐（5年生）、久保亨、山崎直仁、北岡裕章：心電図所見による左室心室瘤の原因疾患の鑑別、*心臓* 52: 1390-1395, 2020.

■令和元年度

【原著論文】

- 1) Watanabe S (渡辺伸一郎：6年生), Kawano T, Horino T, Matsumoto T, Nagata K, Hatakeyama Y, Locatelli FM, Yokoyama M, Terada Y, Okuhara Y., Influence of hyperuricemia treatment on postoperative acute kidney injury among hyperuricemia patients: a single-center retrospective database analysis. *BMC Res Notes*. 2019 Nov 21;12(1):756. doi: 10.1186/s13104-019-4783-1.
- 2) 入澤里桜（4年生）、清水元就（4年生）、城可方（4年生）、丹羽美貴（4年生）、山中風佐（4年生）、久保亨、山崎直仁、北岡裕章。心電図所見による左室心室瘤の原因疾患の鑑別：Electrocardiographic findings of left ventricular aneurysm among different causes. *心臓* in press.
- 3) Tetsuya Yumoto, Takahisa Fujita (藤田貴久：4年生), Sunao Asaba, Shunsuke Kanazawa, Atsunori Nishimatsu (西松篤則：4年生), Hideo Yamanouchi, Satoshi Nakagawa and Osamu Nagano.: Comparison of the ventilation characteristics in two adult oscillators: a lung model study. *Intensive Care Med Exp* 2019 Mar 12; 7(1): 15.

医学教育学生会 (BRIDGE:ブリッジ)

先輩からの MESSAGE

いいお医者さんになるためには何が必要か、一緒に考えてみませんか。医学生からの建設的な提案により、講義や実習をよりよいものにしていくチャンスがBRIDGEにはあります。1期生として私たちと活動する意欲ある方の参加を待っています。



チーフスタッフ
医学科5年
植村夏実

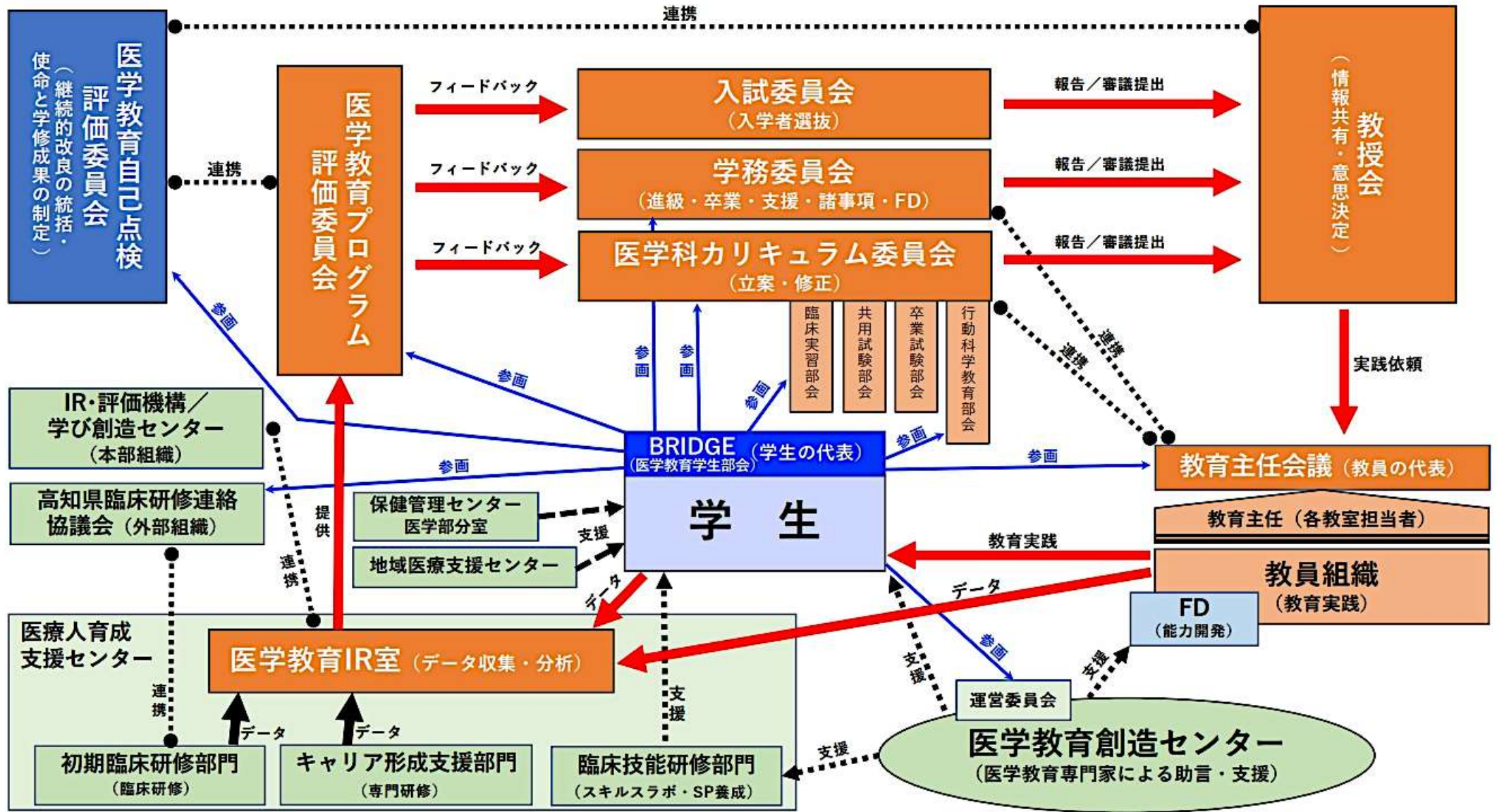
プロジェクトリーダー
医学科5年
黒江崇史

チーフスタッフ
医学科5年
藤本裕基

- ▶ 高知大学医学部では、2014年に学生が自ら設立した医学教育学生会 (BRIDGE) の活動を取り込み、使命や学修成果の制定に学生代表として参画、2018年入学生のカリキュラム策定にも関与。また学生独自のアンケート調査、学会発表も行う。
- ▶ 現在、多くの医学教育関連委員会にBRIDGEや学生委員が正式委員として参画している。

学生の参画

教育プログラムの実践と継続的改良の体制（2023年度）



入学者選抜

多様な選抜方式 (入学定員：115名)

態度・習慣領域評価
(総合型選抜・学士編入)

30人 (現役・一浪) 総合型選抜Ⅰ (AO入試)	<ul style="list-style-type: none">➤ 総合問題 (共通テストを課さない)➤ 態度・習慣領域評価 (のべ8日：グループワーク)➤ コンピテンシー面接 (のべ4日)
20人 (現役・一浪) 学校推薦型選 (推薦Ⅱ、地域 枠)	<ul style="list-style-type: none">➤ 共通テスト➤ 面接
5人 学士 (編入学)	<ul style="list-style-type: none">➤ 総合問題 (共通テストを課さない)➤ 態度・習慣領域評価 (のべ2日：グループワーク)➤ コンピテンシー面接 (のべ1日)
60人 一般選抜	<ul style="list-style-type: none">➤ 共通テスト➤ 二次学力テスト➤ グループ面接

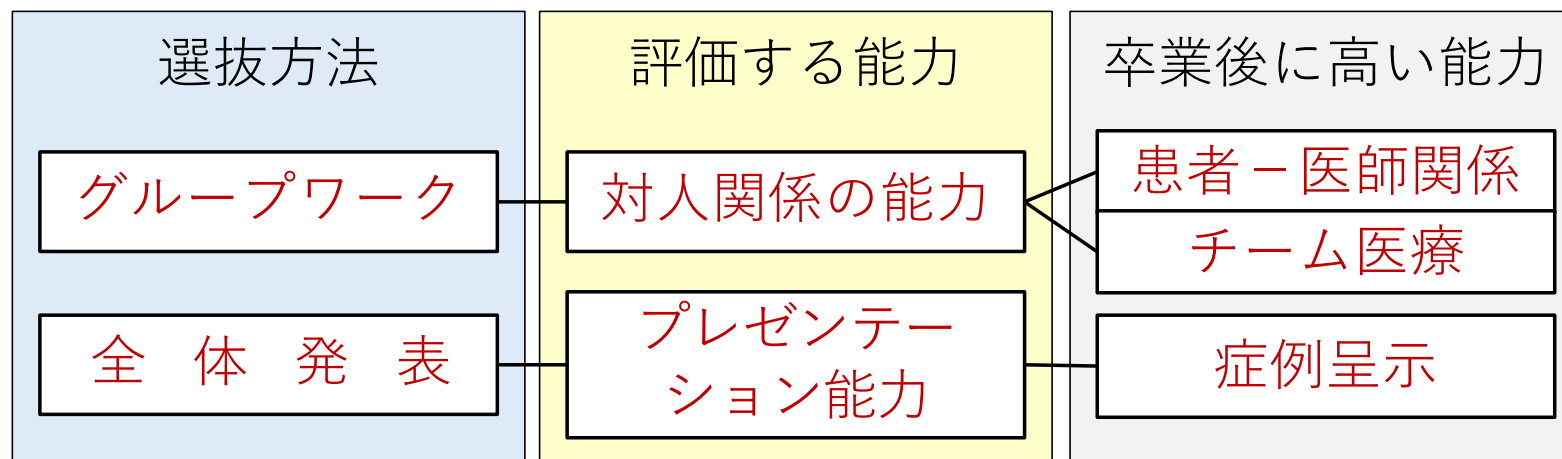


総合型選抜 I
(AO入試)

総合型選抜で重視する能力

考察

態度・習慣領域評価



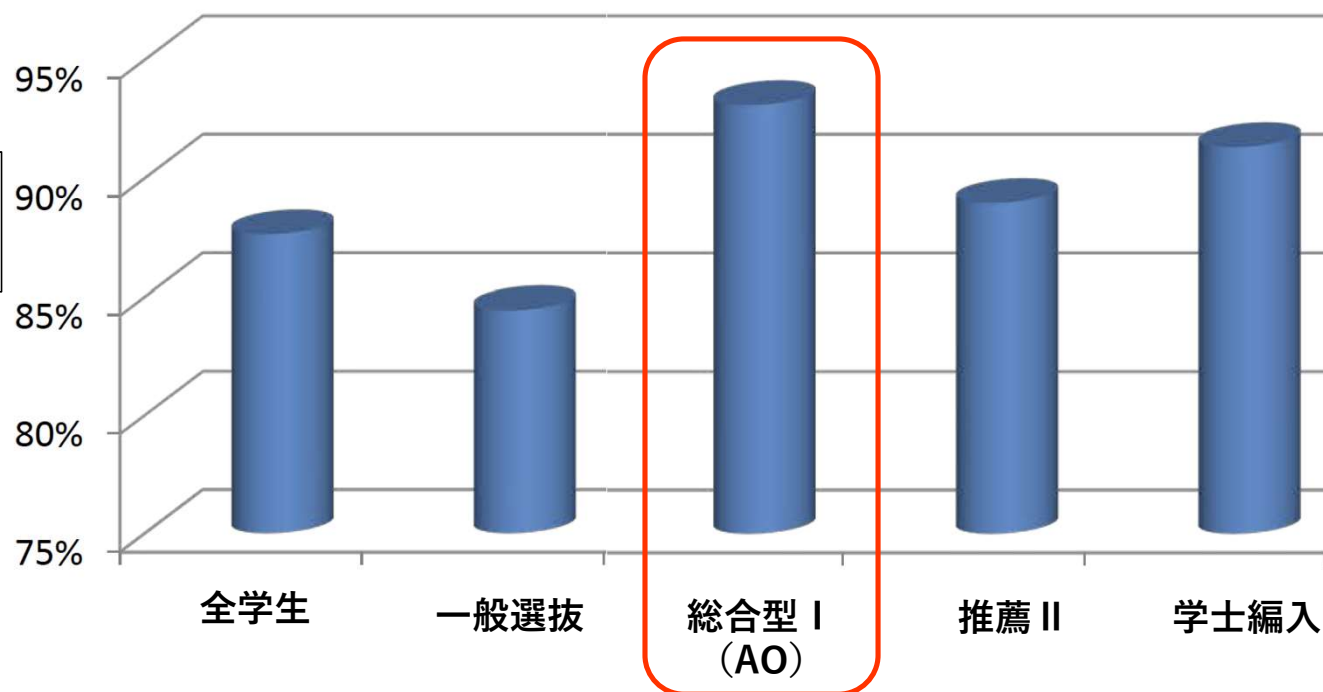
「対人関係の能力」「プレゼンテーション能力」が
高い者を選抜している

総合型選抜Ⅰ (AO入試)

総合型選抜（AO）入学者の成果

- ストレート進級率 93.1%
- 医師国家試験合格率 97.0%
- 卒業後コメディカル評価 態度に関する項目で高評価

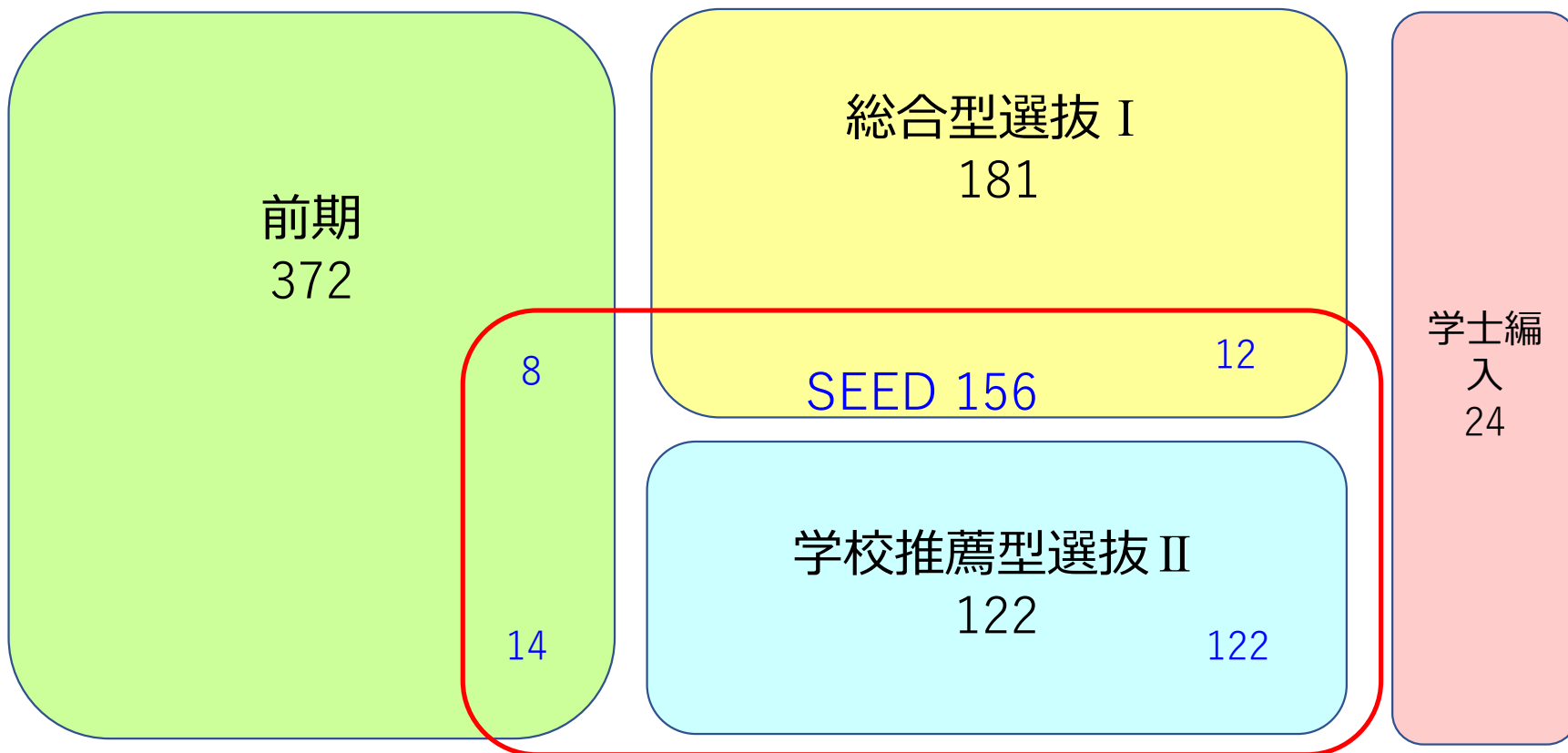
ストレート進級率
(2009～2021年度入学)



地域枠選抜 (SEED)

SEEDとは；高知県医師養成奨学貸付金受給者、学生自ら命名

- 種 … 未来の高知に花を咲かせる種を蒔こう
- シード… 率先して高知の医療に関わるシード権



2023年6月現在：全学生数 6 9 9 名

卒業生の動向

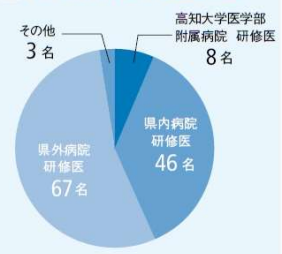
医学科 進路データ

卒業が認定され、医師国家試験に合格した後は、様々な進路選択が可能です。
 ※診療に従事しようとする医師は、大学病院または臨床研修病院で2年間以上の臨床研修が義務付けられています。
 ※地域枠の学生は、医師臨床研修は高知県内で行います。

医師国家試験合格状況(新卒者)

	平成30年 (112回)	平成31年 (113回)	令和2年 (114回)	令和3年 (115回)	令和4年 (116回)	令和5年 (117回)
受験者	104名	112名	101名	125名	109名	124名
合格者	99名	105名	96名	118名	102名	121名
合格率	95.2%	93.8%	95.0%	94.4%	93.6%	97.6%

令和5年3月卒業生進路状況



卒業生の主な研修先

- 卒業者が研修を行っている高知県内の基幹型臨床研修病院／高知大学医学部附属病院、国立病院機構高知病院、高知赤十字病院、高知医療センター、唯多りみん病院、高知立あき総合病院、近森病院、細木病院
- 卒業者が医師臨床研修を行っている高知県外の大学病院(大学名のみ)／東北大学医学部薬科大学、千葉大学、自治医科大学、東京大学、慶應義塾大学、横浜市立大学、岐阜大学、名古屋大学、名古屋市立大学、滋賀医科大学、京都大学、京都府立医科大学、大阪大学、大阪医科大学、奈良県立医科大学、神戸大学、九州大学
- 卒業者が医師臨床研修を行っている他国(海外)の研修先(例)／聖隷湘南病院、天徳病院、八戸市立市民病院、大宮総合病院、会津中央病院、水戸赤十字病院、茨城メディカルセンター病院、群馬中央病院、利根中央病院、行田総合病院、国立国際医療研究センター、千葉メディカルセンター、国府台病院、成田赤十字病院、総合病院国保中央病院、千葉県済生会野田病院、亀田総合病院、虎の門病院、町田市立病院、公立昭和病院(眼科病院企業体)、横浜労災病院、川崎中央病院、湘南鎌倉総合病院、大和中央病院、東名厚木病院、杉田玄白記念公立小浜病院(公立小浜病院組合)、長野市立病院(地方独立行政法人)、後久総合病院(後久医療センター、岐阜市立病院、岐阜総合医療センター、中津川市立病院、聖隷浜松病院、沼津市立病院、名鉄病院、名古屋セントラル病院、名古屋第二病院、JCHO中京病院、一宮市立市民病院、一宮西病院、総合大健会病院、公立附生病院、半田市立半田病院、名古屋種痘済生会総合病院、豊田厚生病院、伊勢赤十字病院、市立立浜病院、京都第二赤十字病院、堺市立総合医療センター(堺市立病院機構)、岸和田徳洲会病院、市立池田病院、市立ひらかた病院、八尾徳洲会総合病院、府中病院、市立大塚医療センター(地方独立行政法人)、若草第一病院、甲南医療センター、徳島赤十字病院、創健記念広徳病院、石巻中央病院、加古川医療センター、兵庫県立加古川医療センター、赤穂市立病院、西宮市立総合病院、高松市立病院、北播磨総合医療センター、三田市立病院、市立加西病院、加西病院、奈良県総合医療センター、土庫病院、和歌山県立和歌山病院、岡山医療センター、岡山市立市民病院(地方独立行政法人)、岡山立山病院、倉敷中央病院、備前立山病院、中国労災病院、福山医療センター、福山市立病院、徳島医療センター、下関市立市民病院(地方独立行政法人)、福島市立病院、高松平和病院、周南病院、田川病院、熊本赤十字病院、沖縄赤十字病院、清瀬総合病院



医師国家試験のサポート体制

毎年2月に行われる医師国家試験の合格に向け、高知大学では様々な学生の支援を行っています。

- SUPPORT 1 専用の学習室で、グループ学習**
6年生になると、終日使用できる専用の学習室がグループごとに用意されます。国家試験は、独りではなく仲間とともに挑む「団体戦」。無線LANも完備された快適な環境で、互いに教え合い励まし合いながら勉強することで、学習効果も高まります。
- SUPPORT 2 模擬試験を活用した指導と費用の支援**
医師国家試験本番までの間に複数回受ける模擬試験の試験結果を、アドバイザー教員もチェックし、学習到達度の確認と学習指導にあたります。また、模擬試験の受験費用を大学が一部助成する制度もあります。
- SUPPORT 3 医学教育創造センターによるバックアップ**
年々変化する医師国家試験の傾向に対応するため、アドバイザー教員に加え、医師国家試験に精通した医学教育創造センターがさらにバックアップ。最新の情報に基づいた個別の指導・相談に対応し、受験当日までサポートしていきます。
- SUPPORT 4 国家試験対策委員会全面サポート**
4、5年生で構成される国家試験対策委員会が、6年生をサポートしています。対策委員は学内模擬試験の準備・実施を担うほか、医師国家試験当日に試験会場まで同行し、6年生が万全の体制で試験に臨めるようバックアップしています。



医師養成強化対策チーム

構成委員

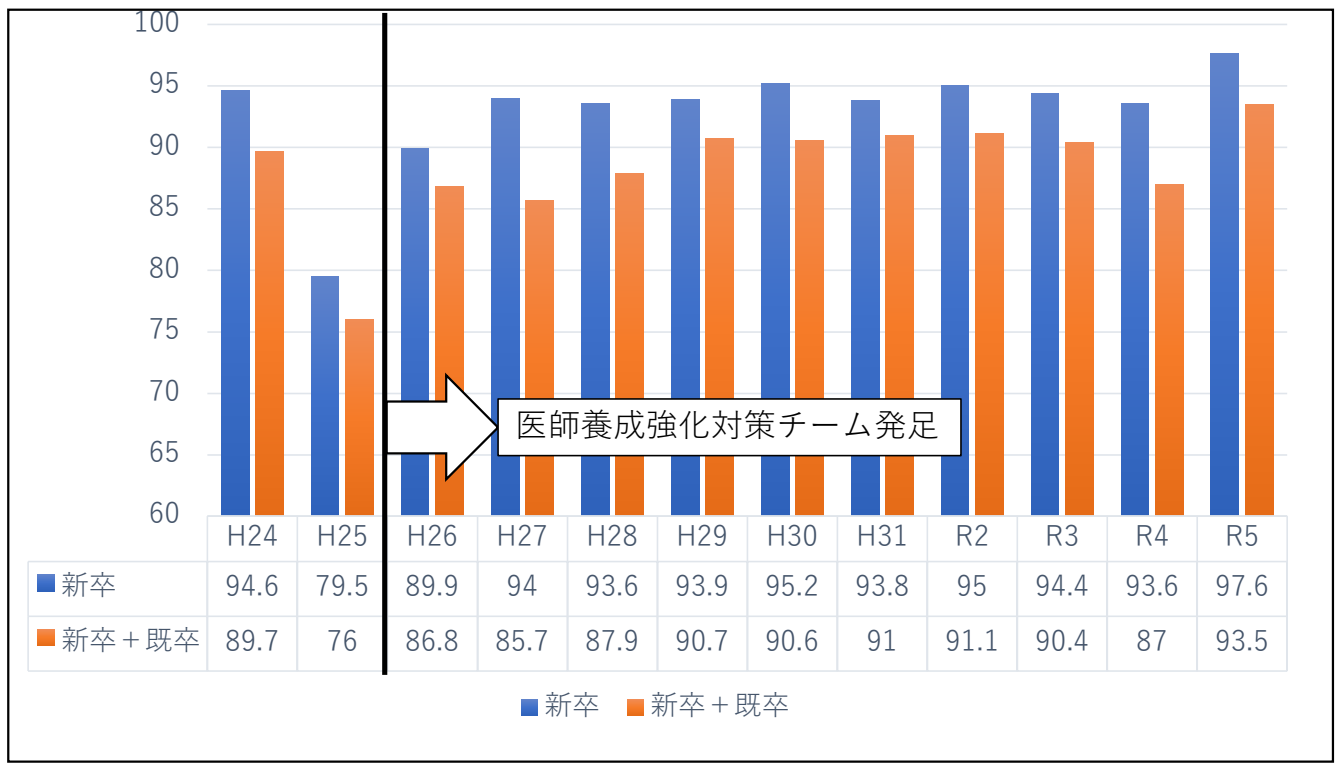
- 委員長：医学教育創造センター長
- 委員：医学科長、学務委員長、他教授5名
- オブザーバー：医学部長、学系長、附属病院長

実施対策

- ・医師国家試験に基づき次年度の試験の対策について検討協議。
- ・模試結果等に基づき現役・既卒医学部生に対してのサポート体制の確立。

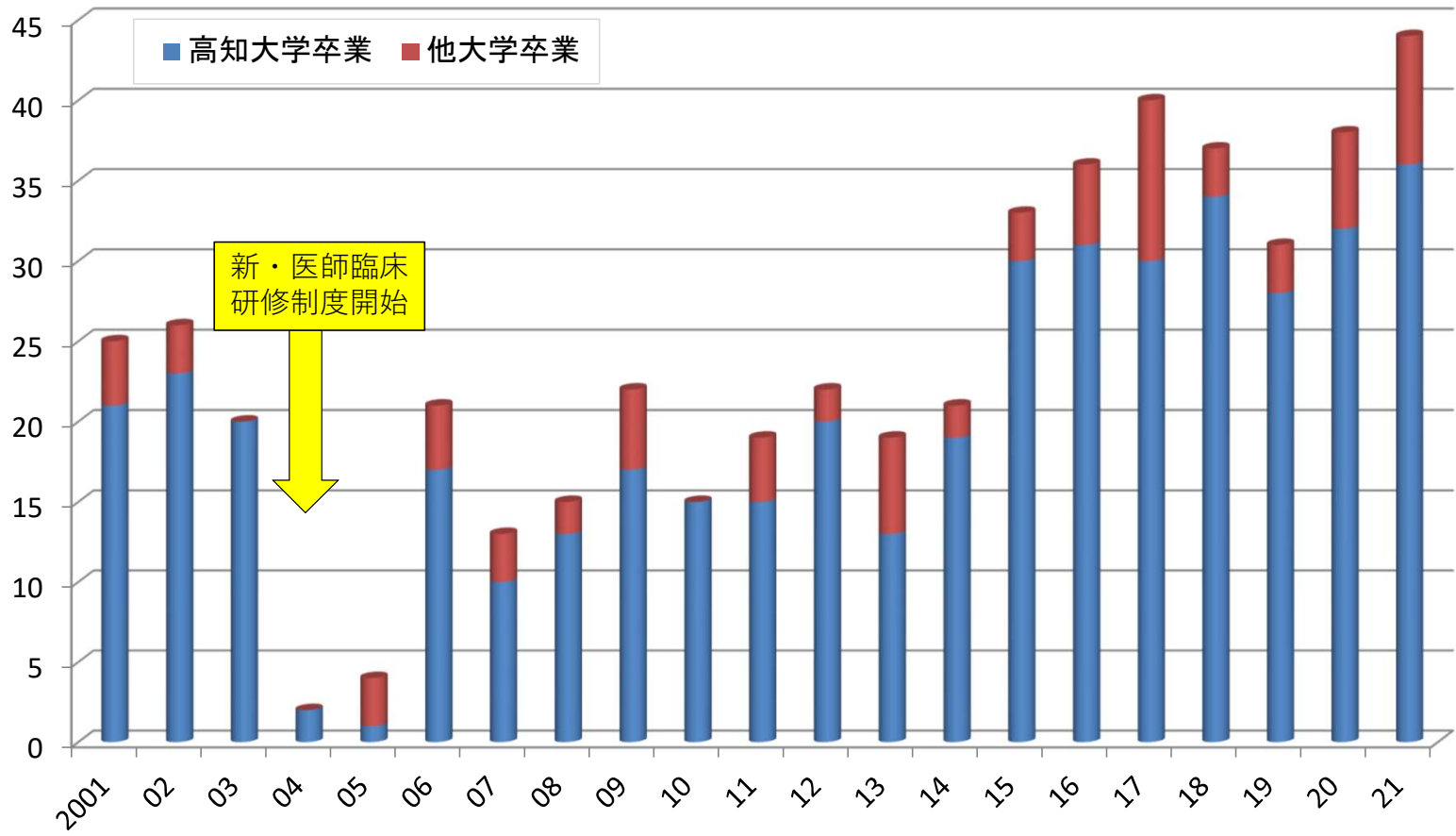
(例) 模試結果をアドバイザー教員に送付→教員との面談・指導
 医学教育創造センター教員による低迷学生のバックアップ

→医師国家試験合格率の底上げ 95%以上の合格率維持を目標



卒業生の動向

臨床系講座新入局者数の推移



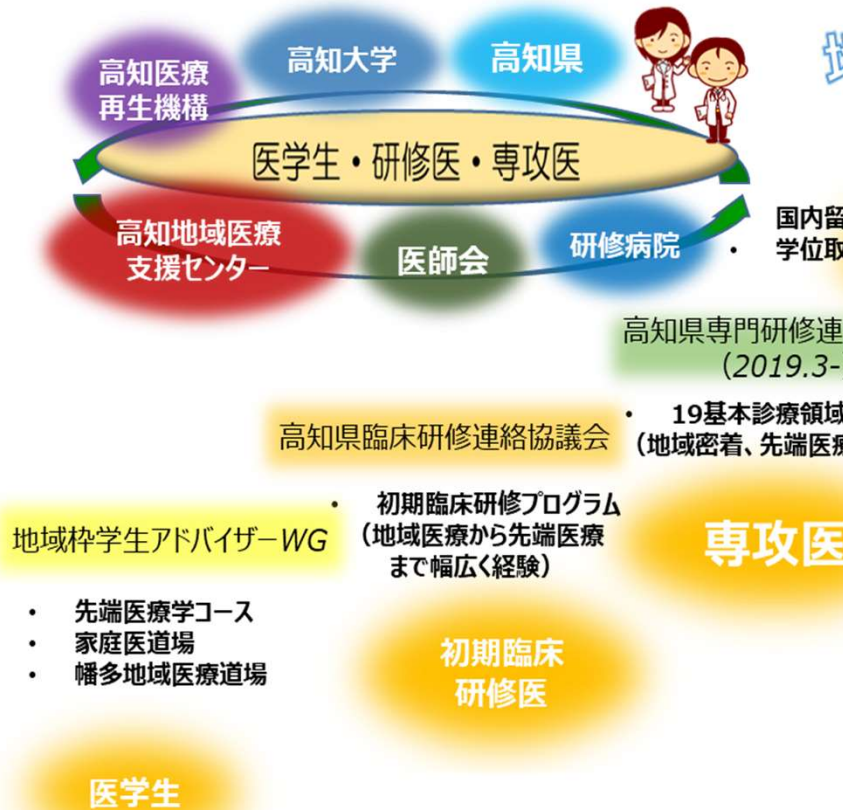
各講座の年報等から演者調査

地域連携の強化促進

地域医療の担い手となる医療人の育成

高知県の地域医療構想の実現に向けた県との協力連携体制の強化

医師の育成に関しては、学生の地域医療実習の実施、初期研修・専門研修のレベルアップや研修環境の改善などに高知県全体で取り組んでいます。



地域への貢献
世界に通用する研究

地域医療構想の実現に向けて高知県と医学部・附属病院の協力体制の確立

知事と医学生との意見交換会

一緒に高知県を変えよう！

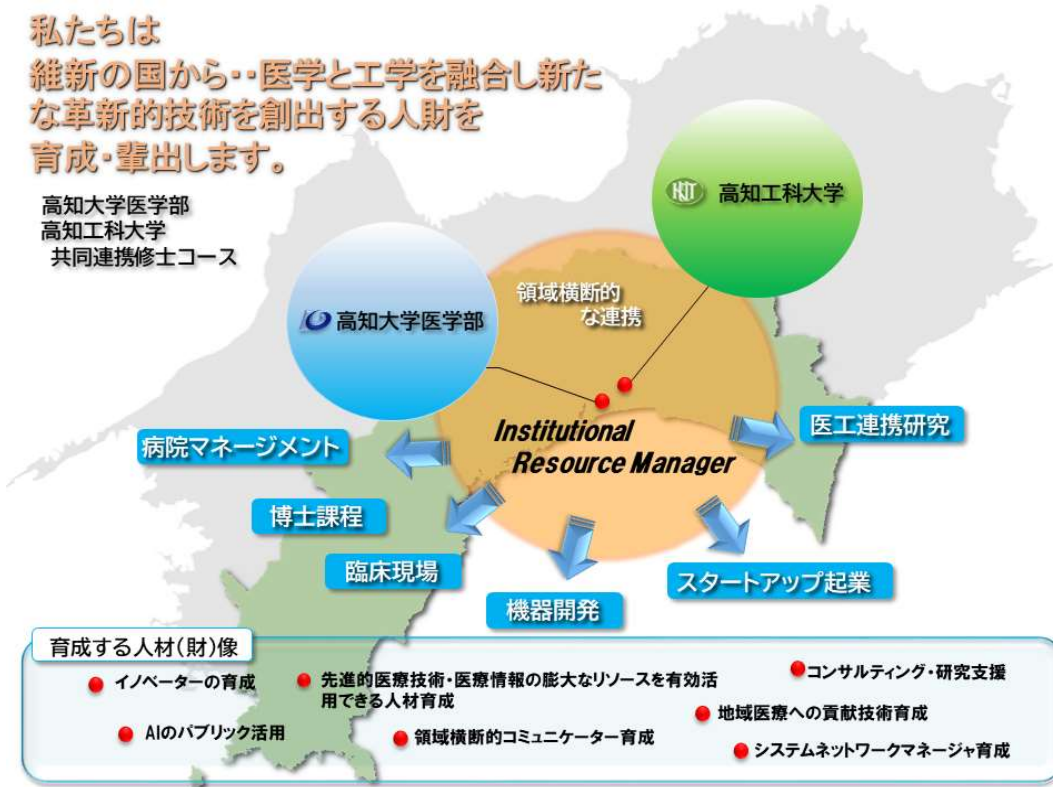


独自の大学院運営

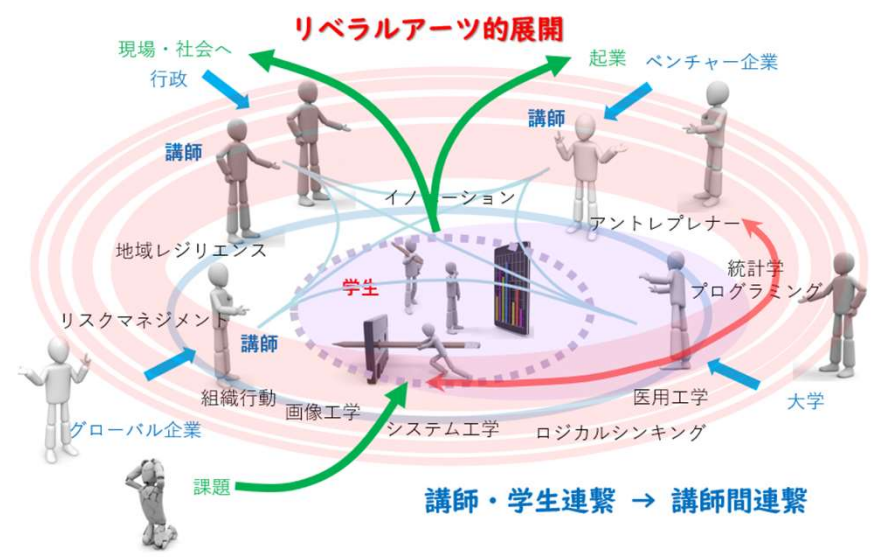
修士課程医科学専攻「ヘルスケアイノベーションコース」

私たちは
 維新の国から、医学と工学を融合し新たな革新的技術を創出する人財を育成・輩出します。

高知大学医学部
 高知工科大学
 共同連携修士コース



人のヘルスケア（健康）、組織のヘルスケア（機能）社会のヘルスケア（ウェルネス）を創出するためのイノベーションの本質を学ぶカリキュラムを提供



2023年度学長裁量経費、教育研究活性化事業の支援

対象
 現場で課題を抱えるメディカルスタッフ（放射線技師、臨床工学技士、など）
 起業、ヘルスケア企業をめざす工学系若手

実績
 2021年度9名→卒業生4名が博士課程へ
 2022年度9名、科目等履修生3名
 2023年度1名、履修証明プログラム5名

2023年度 **SiP**
戦略的イノベーション創造プログラム 採択
 →博士課程設立

医学教育に関する国際評価

日本医学教育評価機構（JACME）設立目的

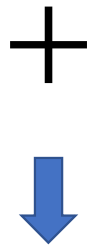
我が国の医学教育の質を国際的見地から保証することによって、医学教育の充実・向上を図り、我が国の保健、医療、福祉、衛生、並びに国際保健に貢献するため、医学部・医科大学等における建学の理念を確認するとともに、世界医学教育連盟（WFME）の国際基準をふまえて医学教育プログラムを公正かつ適正に評価することを目的とする。



JACMEによる高知大学医学部医学教育分野別評価（令和5年10月受審）

自己点検評価

評価基準に基づいて自己点検・自己評価を行い、自分たちの教育の「良い点」「改善すべき点」を見つけ、良い点は発展させ、改善すべき点は改善する体制を整える。
*令和5年7月 自己点検評価報告書作成



外部評価

第三者であるJACMEの評価員が自己点検評価内容を客観的かつ公正に評価する。実地調査（領域別検討会議・見学・面談）を行うことで、自己点検・自己評価の妥当性を確認し、講評を行う。
*令和5年10月17日～20日に実施



JACMEにおいて、WFME基準を踏まえた日本版基準に適合しているかどうか判定が行われ、評価報告書が作成される。
★「認定」の場合は7年間（認定を受けることは、2024年以降、米国医師国家試験（USMLE）の受験資格の一つとなる。）
JACMEによる評価は、医学部が教育プログラムの実施状況を振り返り、自ら問題点を見つけ、外部評価の判定を基に教育の質を改善していくプロセスを作っていくことを目的の一つとしている。

- ～認定後～
「自己点検評価報告書」および「評価報告書」を公開するとともに、指摘を受けた点の推進や改善を行う。
【継続的改良】
○1年ごと：指摘された事項の推進や改善に取り組み、自己点検・自己評価を行う。
 毎年度ごとの改善計画、進捗状況を年次報告書としてまとめ、JACMEに報告する。
○7年後：医学教育分野別評価（2巡目）を受審する。（自己点検評価報告書作成+実地調査）

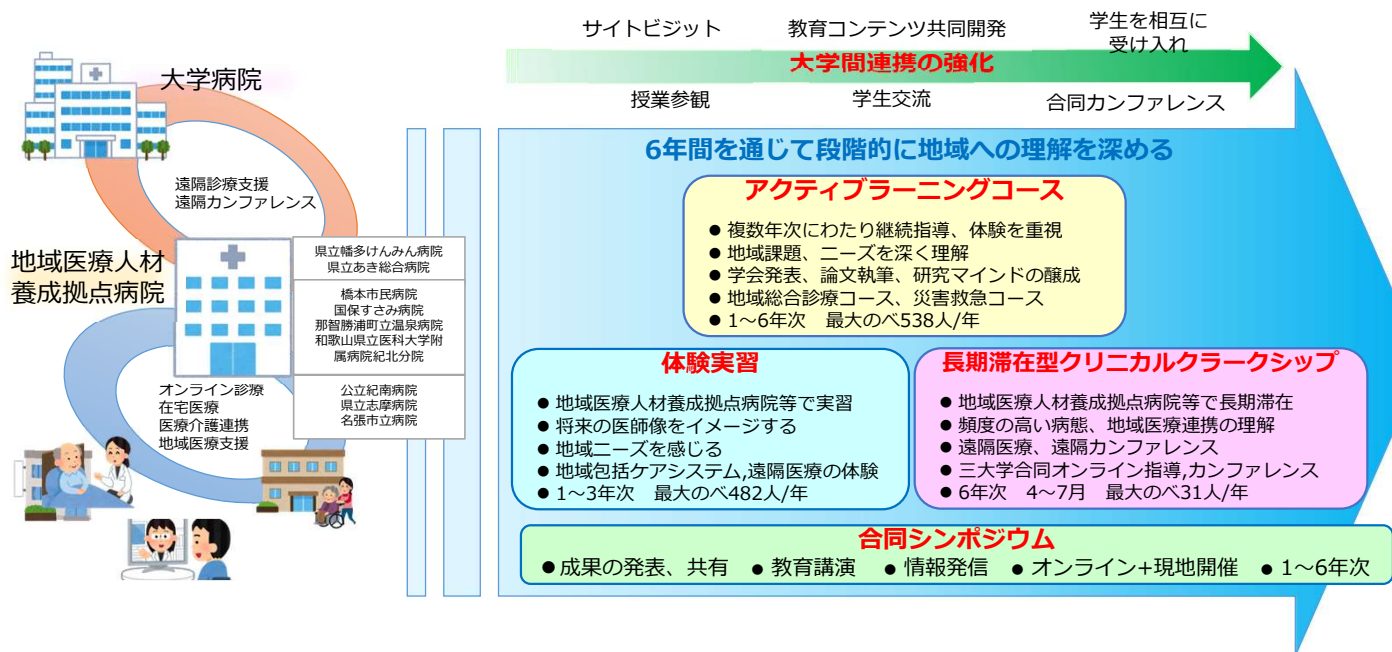


黒潮医療人養成プロジェクト 高知大学（代表）・和歌山県立医科大学・三重大学

文部科学省：ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業
 （支援期間：令和4-10年度、単価：0.7億円/年、件数：11拠点）

- 太平洋に面し長い海岸線を有する地理的な共通点があり、遠隔地の過疎高齢化という共通課題がある
- 南海トラフ巨大地震による大きな津波被害が想定され、災害医療、公衆衛生において大きな地域ニーズが発生する
- このような医療偏在の解消、地域ニーズに応えうるポストコロナ時代の「黒潮医療人」を養成する
- 大学間連携の強化をはかり、教育手法を共有するとともに、学生の学びを多様化する

プロジェクト連携大学

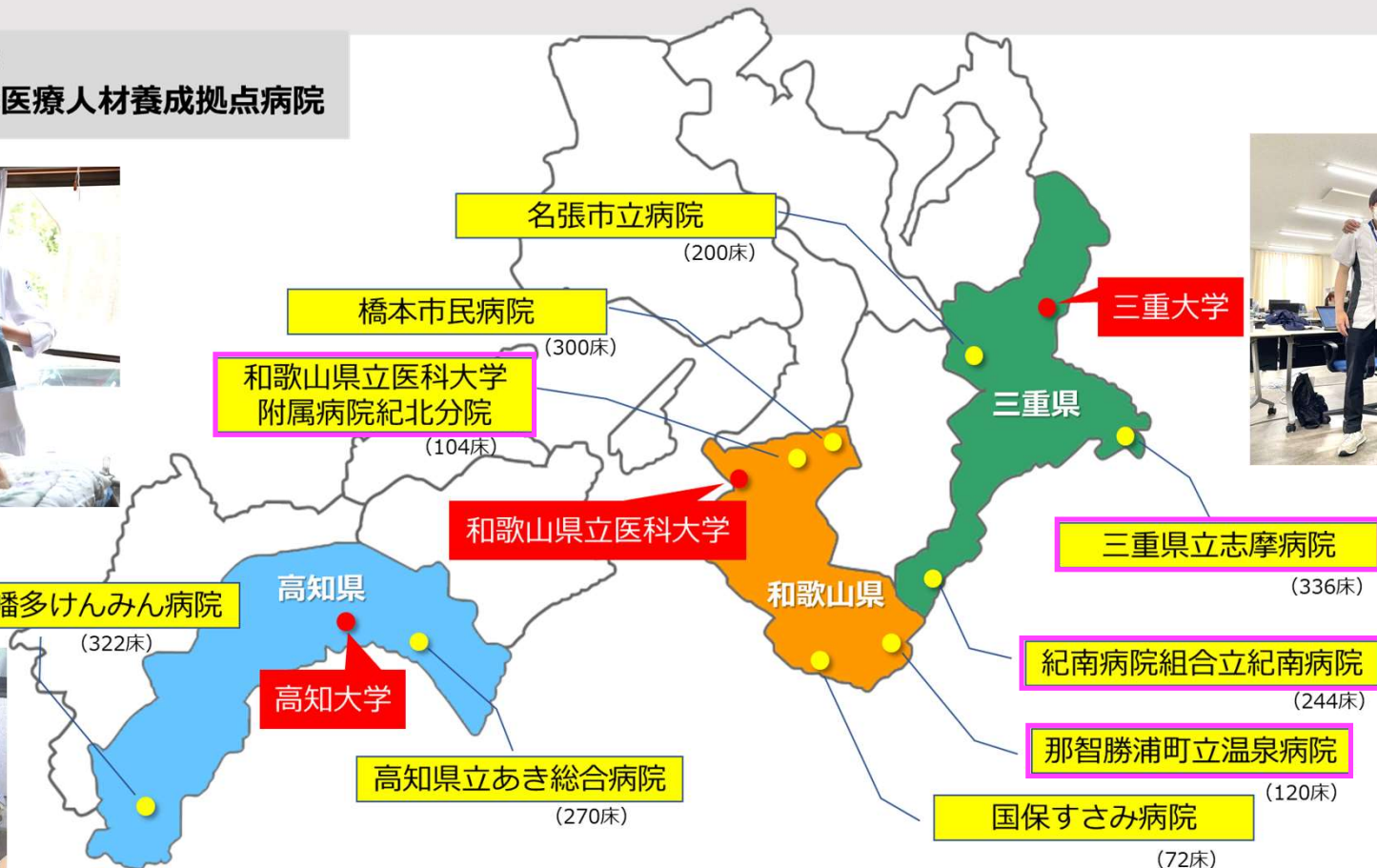


文部科学省拠点事業

黒潮医療人養成プロジェクト 県外長期滞在型実習（6年次） 三重と和歌山で

令和5年度は、三重県と和歌山県の4病院で計4名の高知大学6年生が4週間の臨床実習を行った。3大学の学生交流を含め、有意義な実習を行った。

- 大学
- 地域医療人材養成拠点病院



津波避難タワー滞在実 IN 中土佐町



災害救急医療学研究班
4年 田村侑子

中土佐町&純平タワーとは？



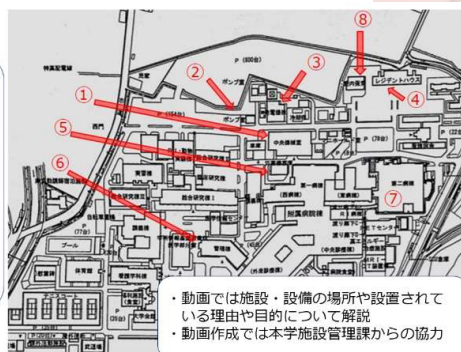
アクティブラーニング
コースの成果報告

医学部生に対する防災・減災の 取り組みへの理解に向けて

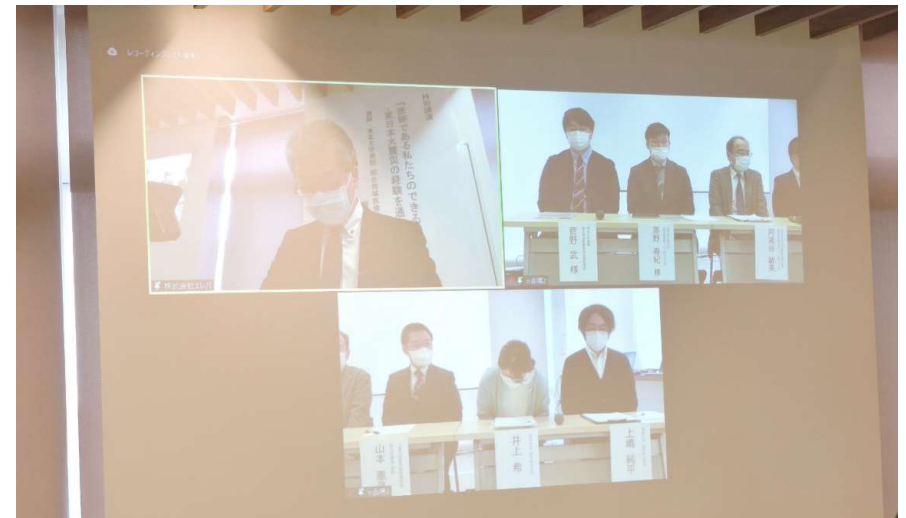
井上希1)、村山真理子1)、田村侑子1)、浅部惟菜1)、塚本尚志1)
中矢紮樹1)、原田芳樹1)、佐々木康介2)、西山謙吾2)
1)高知大学医学部医学科先端医療学コース
2)高知大学医学部災害・救急医療学講座

活動内容

- 【紹介する施設一覧】
- ①防災センター
- ②貯水槽
- ③発電施設
- ④DMAT倉庫 (レジデントハウス)
- ⑤災害備蓄倉庫
- ⑥学生課前防災倉庫
- ⑦免震構造の病棟
- ⑧保育所



・動画では施設・設備の場所や設置されている理由や目的について解説
・動画作成では本学施設管理課からの協力



看護学教育

医学部看護学科の使命

< 看護師・保健師・養護教諭・助産師養成 >

・看護学科

看護師国家試験受験資格

「看護学コース」「公衆衛生看護学コース」

保健師国家試験受験資格

「公衆衛生看護学コース（選抜制）」で必要な単位を修得した者。申請により第一種衛生管理者免許状、養護教諭二種免許状も取得可

養護教諭一種免許状

教職課程科目を追加修得した後、申請により取得可

・総合人間自然科学研究科看護学専攻実践助産学課程

助産師国家試験受験資格

看護学修士号及び助産師国家試験受験資格を取得可

< 看護学教員の養成機能 >

看護学科卒業生の動向

2018～2022年		年度				
		2022	2021	2020	2019	2018
卒業生数		71	65	67	71	65
就職者		67	60	59	64	61
県内への就職	看護師	10	24	28	26	21
	高知大学医学部附属病院	6	12	18	16	10
	その他の医療機関	0	3	5	3	4
	保健師	2	5	2	4	6
	養護教諭(臨時含む)	1	4	3	3	1
その他	1	0	0	0	0	
県外への就職	看護師	45	32	26	32	33
	保健師	4	2	2	4	2
	養護教諭(臨時含む)	7	2	3	2	5
	その他	1	0	0	0	0
進学	県内	2	3	4	4	2
	県外	2	1	1	1	2
その他	県内	0	1	1	0	2
	県外	0	0	2	0	2

令和5年度 感染管理認定看護師教育課程（B課程）開講

感染管理認定看護師：感染対策における高度な専門知識や実践力をもつと認定された看護師。日本看護協会が認定。

B課程：従来の認定看護師教育（A課程）に加え、その分野に必要な特定行為研修を同時に学び修了する教育課程。

感染管理認定看護師養成の課題

高知県の現状

1. 高知県の感染管理認定看護師登録者数
 (2022年12月25日時点 日本看護協会)
A課程：16人 B課程：3人
 →全国と比較して非常に少ない！

2. 感染管理認定看護師教育機関
四国内に教育機関がない！（令和4年時点）
 →研修期間は6か月～1年間に及ぶため、
研修費、滞在費用負担が大！
 ※令和5年時点では3県（徳島、高知、香川）で開講となっている。

高知県が調査



高知県内医療機関の意向

アンケート結果

実施日：令和4年6月20日～7月7日

対象機関：高知県内の医療機関120施設

回収率：58.3%（n=70）

質問1：現在、感染管理認定看護師を養成したいと考えているか

すぐに養成したい 16 (22.9%)

将来的に養成したい 35 (50.0%)

考えていない 19 (27.1%)

7割以上の施設が「養成したい」と回答！

高知県からの依頼を受け

令和5年高知大学医学部附属病院 医療人育成支援センター
感染管理認定看護師教育課程（B課程）開講！

令和5年度 入学者9名（高知県内8施設）

研修期間：令和5年7月4日～令和6年6月26日

教育内容

- 【特定行為研修】
- 共通科目**
- 臨床病態生理学
 - 臨床推論
 - フィジカルアセスメント
 - 臨床薬理学
 - 疾病・臨床病態概論
 - 医療安全学/特定行為研修
- 区分別科目**
- 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
 - 感染に係る薬剤投与関連

- 【認定看護師分野】
- 共通科目**
- 指導
 - 相談
 - 看護管理
- 専門科目**
- 感染管理学
 - 疫学・統計学
 - 微生物
 - 医療関連感染サーベイランス
 - 感染防止技術
 - 職業感染管理
 - 感染管理指導と相談
 - 洗浄・消毒滅菌とファシリティマネジメント
- ・総合演習
 ・臨地実習

スケジュール

7月4日	開講式
7月～9月	特定行為研修共通科目 (勤務しながら受講)
10月～12月	区分別科目、認定看護師分野科目 (集合研修)
1月～2月	臨地実習 (特定行為研修・認定看護師分野)
3月	ケースレポート発表
4月	修了試験
6月	卒業式

進捗状況

9月26日：特定行為研修共通科目受講修了
 10月5日：特定行為研修共通科目修了試験修了
 10月2日～集合研修開始
 10月19日～認定看護師分野専門科目開始
 10月23日：特定行為研修区分別科目受講修了
 10月25日：特定行為研修区分別科目修了試験修了

現在、認定看護師の専門科目を学びながら、
 実習に向けて知識、技術を深めている。

研究力強化推進

先端医療学推進センター

教育

研究

医療

医学部医学科

先端医療学コース
2年生～4年生

リサーチコース
2年生～6年生



総合研究
センター

大学院

修士課程医科学専攻
博士課程医学専攻
MD-PhDコース

独創的医療部門

- ・糖鎖・脂質・生体膜研究班
- ・ペプチドワクチン研究班
- ・創薬基盤推進研究班
- ・神経回路機能研究班
- ・消化器と免疫・癌研究班

再生医療部門

- ・腎機能再生医療研究班
- ・臍帯血幹細胞研究班

情報医療部門

- ・メディカルデータマイニング研究班
- ・病態推移予測研究班
- ・呼吸器疾患と併存症研究班
- ・心血管病遺伝子解析研究班
- ・医療DX・データヘルス研究班

社会連携部門

- ・エコチル研究班
- ・周術期侵襲制御医学研究班
- ・感染・災害救急医療研究班
- ・地域総合診療・臨床疫学研究班

先端医工学部門

- ・光線医療班
- ・画像下治療(インターベンショナル・ラジオロジー)研究班
- ・福祉工学研究班
- ・内視鏡外科手術研究班

臨床試験部門

- ・臨床試験研究班

附属病院

新しい診断法
新しい治療法



患者データ

医学情報
センター
IMIS
since 1981

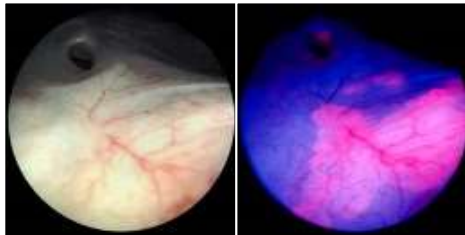


CPDM
Center for Photodynamic Medicine
Kochi Medical School, Kochi University

光線医療センター

5-アミノレブリン酸 (5-ALA) を用いた光線力学診断 (PDD) による 癌の術中診断

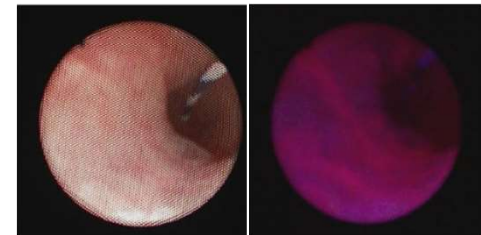
＜膀胱癌（泌尿器科）＞
2012年 医師主導治験（高知大学）
2015年 企業治験（高知大学）
2017年 薬事承認



＜胃癌・腹膜播種（消化器外科）＞
2015年 医師主導治験（高知大学）
2017年 医師主導治験（高知大学）



＜腎盂尿管癌（泌尿器科）＞
2018年 臨床試験 高知大学
2023年 医師主導治験 準備中



高知大学
Kochi University
医学部 光線医療センター（井上センター長）

- ・消化器外科
- ・乳腺外科
- ・呼吸器外科
- ・消化器内科
- ・耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- ・皮膚科
- ・眼科
- ・脳神経外科
- ・泌尿器科
- ・臨床工学部

- [技術アドバイザー]
- ・生理学(循環制御学)講座(佐藤教授)
 - ・理工学部(仁子助教(兼務教員))

- [学外顧問](2018/8-)
- ・東京工業大学生命理工学院(小倉客員教授)
 - ・大阪公立大学大学院医学研究科(小澤客員教授)
 - ・ネオファーマージャパン株式会社(田中客員教授)

- ・専属研究員
- ・短期研究員



＜共同研究＞

東京工業大学生命理工学部
オープンイノベーションハブ
先端光線医療(小倉准教授)



＜共同研究＞

大阪大学 工学研究科
(間准教授・西村助教)



＜大学間学術協定＞

アイルランド王立外科医学院
(RCSI)ハ・レン校



＜大学間学術協定＞

アラビア湾岸諸国立大学
(AGU)



2013 学術協定締結



2019 共同研究契約



2017 国際シンポジウム



2019 インドアポロ病院

脳性麻痺再生医療研究センター

先行研究

- 小児脳性麻痺など脳障害に対する自家臍帯血単核球細胞輸血 (jRCTb060190039)
- 小児脳性麻痺など脳障害に対する同胞間臍帯血有核細胞輸血 (jRCTa060200018)

先進医療

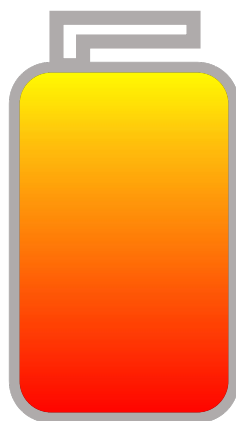
- ☑ 先進医療B(臨床研究) ▶ 先進医療 (現在、臨床研究の審査中(2023年10月時点))
 - 出生～臍帯血採取～細胞調整～輸血まで1医療機関で実施する医療技術の確立

臍帯血
(採血)

細胞調整 (HES法)

液体窒素下で保管

患児へ投与



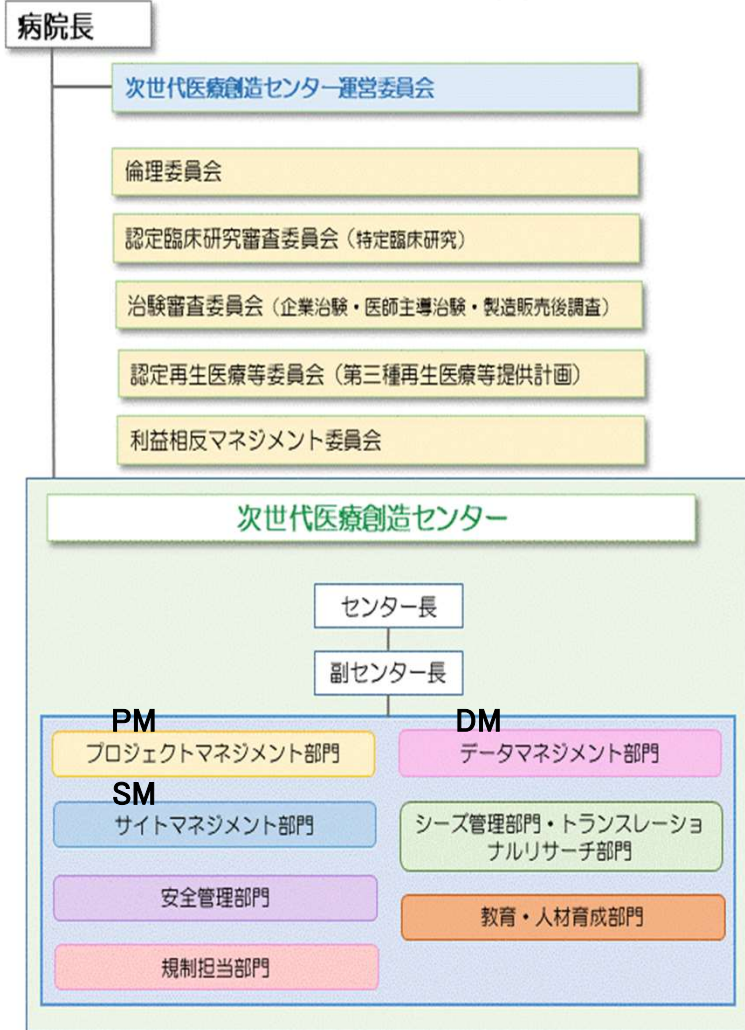
有核細胞

- 単核球
 - 幹細胞
 - リンパ球
 - 単球
- 有核球(好中球含む)等

先行研究／先進医療のデータを用いた薬事開発
薬事承認申請を見据えた展開

次世代医療創造センター

— 臨床試験・治験などの開発業務支援、管理組織 —



- 1997年 4月 「治験管理室」開設
- 2009年 4月 「臨床試験センター」改組
- 2013年 3月 「次世代医療創造センター」改組
- 2021年 8月 DOTワールド株式会社との業務提携
(開発業務支援・人材育成)
 - ・ 特任准教授 出向
 - ・ 客員教授着任



2021年 12月プレスリリース



2022年 1月 文教ニュース



高知大学医学部における研究助成制度



制度名	対象者	金額	その他
高知信用金庫医学研究賞 (高知信用金庫からの 寄付金1500万)	医学部で研究を行う准教授、講師若しくは助教（特任教員を含む。）、医員（医員（研修医）を除く。）又は大学院医学専攻の学生	1件は100万円以内 (今年度3件採択)	採択者は翌年度に開催する公開講演会で研究成果を発表する。
病院長裁量経費 (今年度：6000万)	教育研究部医療学系臨床医学部門、医学部附属病院、医学部附属施設等に所属する研究者（特任教員・医員・技術職員・医療職員を含む）	1件は申請書内容から500万円以下で決定	医学の発展に寄与すると期待される独創的・个性的研究に対し助成する。 総予算は毎年度、予算委員会、病院運営委員会で審議・決定する。

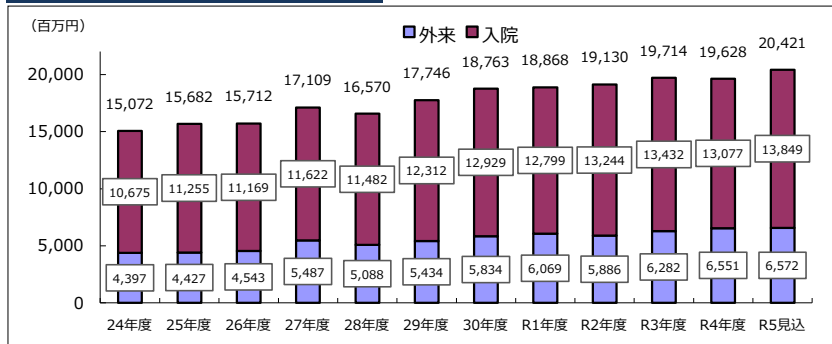
医学部附属病院運営

附属病院における直近の運営課題と課題に対する戦略

経営管理指標の推移

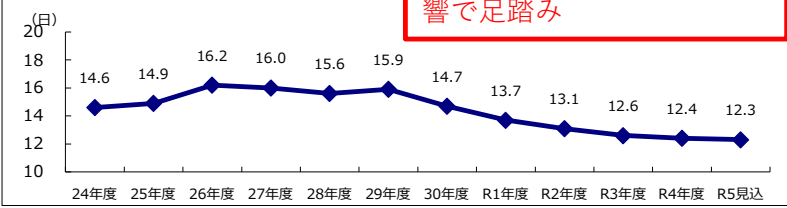
診療報酬請求額の推移

R5見込は、4-9実績を基に算出



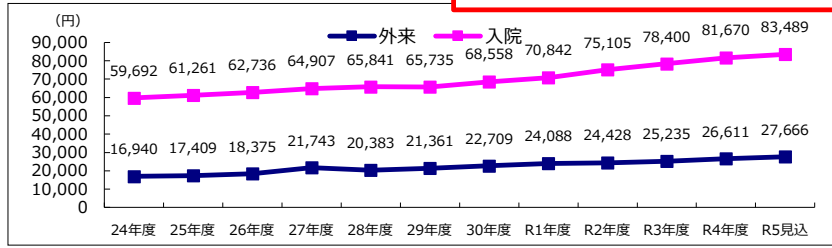
平均在院日数の推移

入院期間II以内改善促進するもクラスター等による影響で足踏み



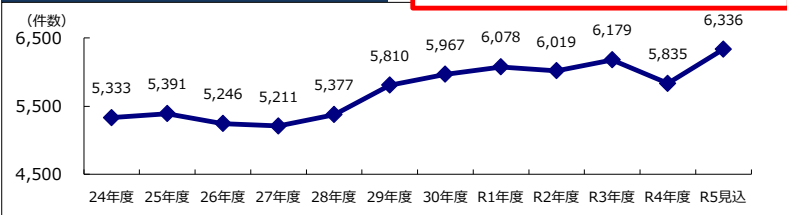
診療単価の推移

単価は上昇しているが他院に比べ低い入院診療単価



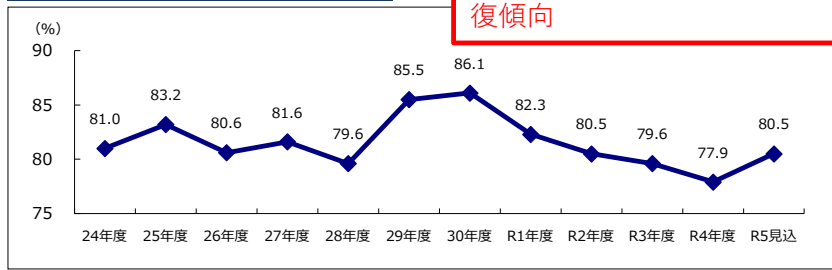
手術件数の推移

手術枠の効率的運用促進

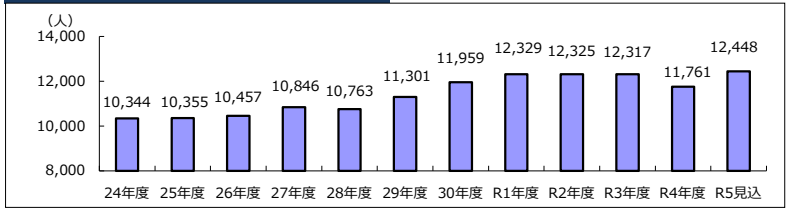


病床稼働率の推移

コロナ病床縮小し、若干回復傾向

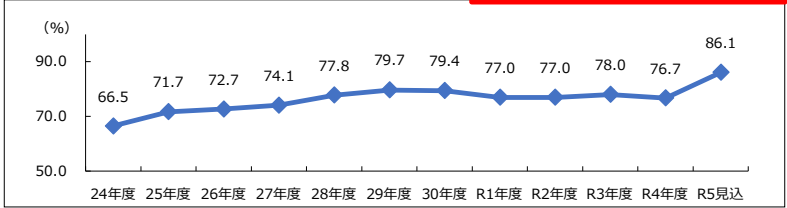


新入院患者数の推移



紹介率の推移

紹介・逆紹介率向上を促進



附属病院再開発事業


■再開発計画内容

■第一病棟を診療管理部門へ改修 第2、3ステージ
既存第一病棟（西）→診療管理部門棟に全面改修
既設第一病棟（西）一部取り壊し 575㎡




第一病棟
→診療管理部門棟として有効活用する
→緩和ケア病棟15床設置（第189回病院運営委員会審議済（R2.5.19開催））

■外来診療棟改修 第3ステージ
既設外来診療棟は全面改修



診療の効率化、患者アメニティの向上、待ち時間の負担軽減を図る
→感染症対応エリアの設置（第214回病院運営委員会審議済（R4.6.14開催））

■中央診療棟改修 第2、3ステージ
既設中央診療棟1、2階は一部改修
3階は全面改修（リハビリテーション部など）




先端医療に対応した投資的な改修

更新・改修した血管造影室



■第二病棟増築 第1ステージ
第二病棟増築 : 地上7階、免震構造 延床面積：19,087㎡、264床

■新病棟建設 第2ステージ
新病棟建設 : 地上9階、免震構造
延床面積：18,818㎡
既設第一病棟（東）取り壊し : 6,896㎡



国土強靱化基本計画による免震構造の病棟建設

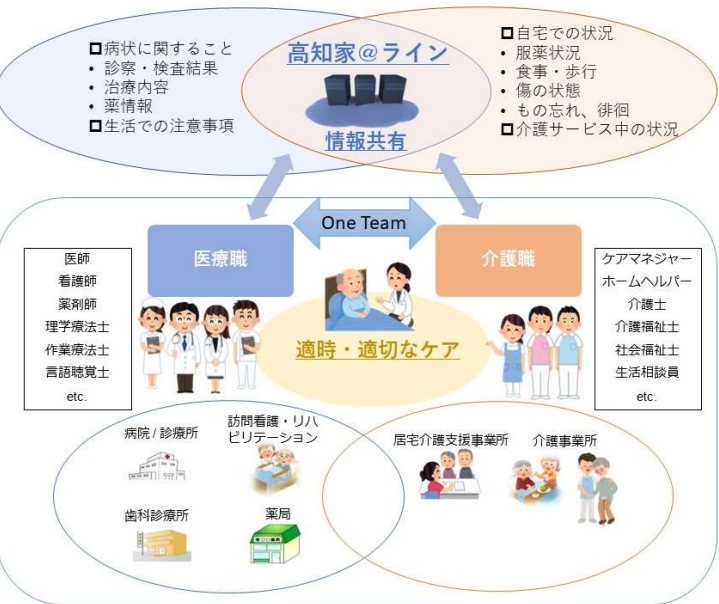
→フェーズ毎の感染対応病棟（第192回病院運営委員会審議済（R2.8.4開催））
→救急HCUの充実12床設置（第212回病院運営委員会審議済（R4.4.12開催））



病院再開発を含め、医学教育に関連する施設の更新をマスタープランとして掲げており、今後、4～5年間でハード面の改善を進める。

地域医療連携・支援事業

医療DXセンター



高知大学医学部附属病院 (2022年7月)
医療DXセンター
 (ICT活用での地域医療支援)

- 診療相談・患者紹介
 - ・高知家@ラインメールetc.
 - ・オンライン機能：D to D
- 地域との多職種連携
 - ・入退院支援
 - ・多職種カンファレンス
- アプリを活用した健康管理
 - ・入院前フレイルチェック、プレハビリテーション
 - ・スマホ・PCによる血液検査・処方の確認
 - ・感染症(COVID-19)対応

医療過疎地域の医療支援(室戸市デジタル田園都市国家構想推進交付金事業)

EHR導入
 ・室戸市立2診療所、4薬局にて電子カルテ・調剤情報連携

PHRアプリによる健康管理
 ・健康データの自己管理：バイタル/フレイル、処方・血液検査結果
 ・主治医/保健師との連携
 ・疾患早期発見・重症化予防

オンラインカンファレンスによる多職種協働

医療Maas車両を活用したオンライン診療
 ・D to P (with N)

2023.3.24高知新聞

2023年度
 室戸市地域医療計画改定支援委託業務
 ・オンライン診療・医療Maas車両対象住民の検討
 ・PHRアプリのターゲット住民・疾患の検討

↑

2022年度
室戸市デジタル田園都市国家構想推進交付金事業
 ・電子カルテ・調剤情報連携(はたまるねっと活用)
 ・オンライン診療・カンファレンス機能(高知家@ライン機能)
 ・医療Maas車両
 ・PHRアプリ(高知家@ライン機能)

2018年度
 ・高知家@ラインはたまるねっと運用開始

↑

2018年度
 ・はたまるねっと運用開始

↑

2017年度
 ・総務省クラウド型EHR高度化事業(幡多医師会)

2017年度
 本格運用開始



各地域での在宅療養者を支える仕組 (2017年)
 ・医療介護連携・多職種協働の具体化
 ・高齢者総合機能評価の実践

文部科学省事業

「課題解決型高度医療人材養成プログラム」(病院経営支援領域) 平成29(2017)年度～令和3(2021)年度

取組名称：地域医療を支える四国病院経営プログラム
取組大学：高知大学（連携：香川大学、高知工科大学、高知県立大学）

最終評価：全国10拠点中唯一の「S評価」

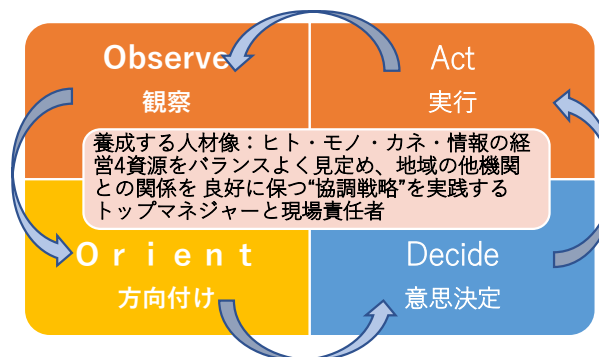
目的 『実践力を備えた病院経営トップマネジメントと病院経営に参加する現場責任者、将来の幹部候補生を養成する』

H30年度より、病院MBAの内容を凝縮して提供することで、OODA (Observe、Orient、Decide、Act) を実践できる病院のトップマネジメントと現場責任者を養成するプログラムを開設。

受講生の内訳 定員15名程度 ➡ コロナ禍のため同期型オンライン活用 ➡ 高知大学単独で自走開始

職種	H30	R元	R2	R3	R4	R5
医師	5	4	5	3	7	3
看護師	5	3	5	5	4	1
医療従事者・事務職員	5	9	5	9	4	10
合計	15(12)	16(16)	15(15)	17(17)	15(14)	14

() の数字は修了者数



地域貢献状況<修了者の出身区別>

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度 ※1		計 (令和5年度のみ受講者数)	
	修了者数	区分割合	修了者数	区分割合	修了者数	区分割合	修了者数	区分割合	修了者数	区分割合	受講者数	区分割合	修了者数	区分割合
高知県内	9	75.00%	14	87.50%	12	80.00%	14	82.35%	9	64.29%	9	64.29%	67	76.14%
四国内(高知以外)	3	25.00%	1	6.25%	2	13.33%	2	11.76%	3	21.43%	2	14.29%	13	14.77%
四国外	0	0.00%	1	6.25%	1	6.67%	1	5.88%	2	14.29%	3	21.43%	8	9.09%
計	12	100.00%	16	100.00%	15	100.00%	17	100.00%	14	100.00%	14	100.00%	88	100.00%

※1 受講中のため受講者数を計上

厚生労働省「教育訓練給付金制度(専門実践教育訓練)」利用状況

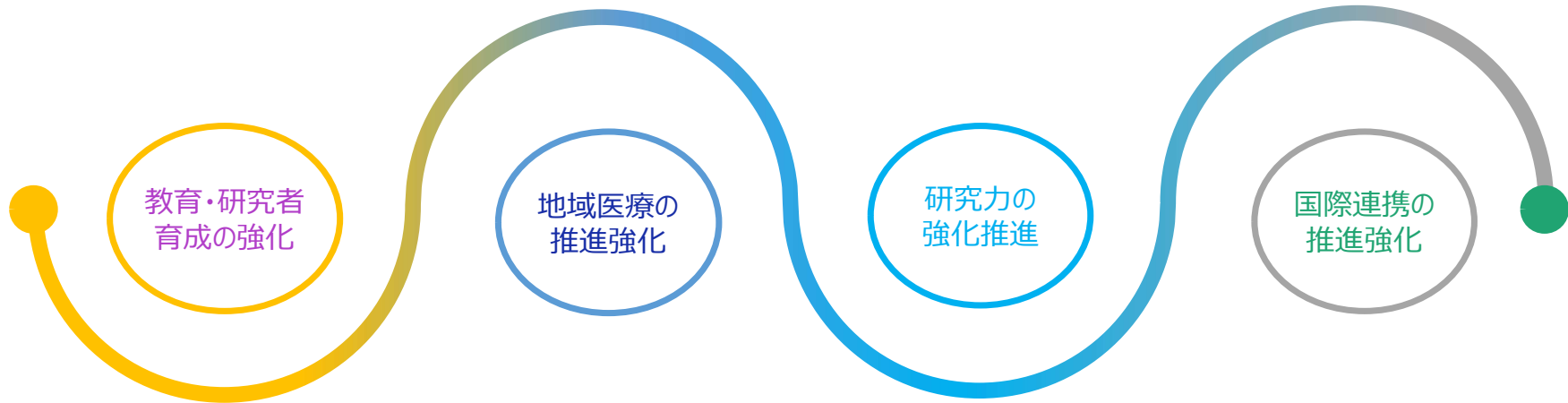
厚生労働省「教育訓練給付金制度」利用者数<令和4年度開始> 受講料の50%に当たる給付金受給(受講料等176,200円のうち50%の88,100円を受給可)	令和4年度		令和5年度 ※1		計
	利用者数	修了者に占める割合	利用希望者数	受講者に占める割合	利用者数 (利用希望者含む)
	2	14.29%	5	35.71%	7

※1 受講中のため利用希望者数を計上

高知大学医学部における将来展望

医療人としての基礎的能力
の育成を重視した教育

課題解決能力を身につけた
人間力豊かな人材育成



教育・研究を担う 医療人の育成

学部学生教育の改革
教育・研究活動活性化

次世代を担う 医療人の育成

ワーク・ライフ・バランス尊重
高知県医療の把握・改善
地域間の相互連携・協働

専門性の高い 医療人の育成

大学院進学率向上
専門医取得貢献
生涯教育・研究活動支援

国際感覚を有する 医療人の育成

世界に向けた情報発信
留学生の受入
国際共同研究・治験推奨



2024年、高知大学創立
75周年へ向けて



研究力強化推進

外部資金獲得状況

		R2	R3	R4
民間等との 共同研究	件数	82	90	86
	金額	58,414,000	64,701,880	55,122,208
受託研究	件数	25	22	29
	金額	359,171,817	310,052,406	364,157,364
治験	件数	31	32	33
	金額	32,188,962	28,459,431	58,490,930
製造販売後 臨床試験	件数	0	0	0
	金額	0	0	0
製造販売後 調査	件数	123	122	97
	金額	5,757,180	6,952,660	2,548,260
医師主導 臨床研究	件数	51	47	51
	金額	3,143,410	4,682,490	6,141,191
寄附金	件数	553	533	541
	金額	447,010,344	417,571,814	454,300,170
合計	件数	865	846	837
	金額	905,685,713	832,420,681	940,760,123

県内病院からの病理診断受入状況

		R2	R3	R4
病理組織検査	件数	3,320	3,330	3,377
	金額	30,607,330	31,110,900	30,963,958

科学研究費助成事業採択状況

		R2	R3	R4
新学術領域研究	件数	1	0	0
	金額	22,490,000	0	0
基盤研究（A）	件数	0	0	0
	金額	0	0	0
基盤研究（B）	件数	11	8	6
	金額	39,288,492	51,290,000	5,070,000
国際共同研究強化（B）	件数	1	1	1
	金額	7,670,000	4,550,000	0
基盤研究（C）	件数	85	86	98
	金額	105,560,000	100,742,243	106,410,788
挑戦的研究（萌芽）	件数	6	4	4
	金額	14,170,000	6,370,000	4,000,000
若手研究（A）	件数	0	0	0
	金額	0	0	0
若手研究（B）	件数	7	3	3
	金額	1,170,000	780,000	0
若手研究	件数	29	27	27
	金額	36,660,000	29,088,546	30,274,556
研究活動スタート支援	件数	1	0	0
	金額	0	0	0
特別研究員奨励研究費	件数	3	2	1
	金額	2,824,238	2,560,000	650,000
奨励研究	件数	3	2	2
	金額	1,350,000	696,766	676,766
合計	件数	147	133	142
	金額	231,182,730	196,077,555	147,082,110
厚生科研	件数	2	1	2
	金額	40,171,000	12,700,000	25,000,000